

始良市温泉センター くすの湯の 木質バイオマス利用によるCO₂排出削減量の認証

始良市では、地域住民の健康増進を図るため、平成6年2月に温泉センターくすの湯を整備し温浴施設の運営を行っており、年間77,000千人の利用者があり、憩いの場としても利用されている。

平成26年度、県の「木質バイオマスエネルギー導入促進事業」により、薪を燃料とする「木質バイオマス（薪）ボイラー」を導入し、平成27年度より利用を行っている。原料となる薪は、始良市内の間伐材を安定的に供給してもらう契約を始良西部森林組合と結び、経費削減と地域の間伐材利活用の推進を図っている。

これにより、使用している油焚きボイラーの運転に係る重油使用量を減少させ、化石燃料由来のCO₂排出量の削減を図っている。

1 認証の概要（7件 1,176t-CO₂）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
認証量	431t-CO ₂	49t-CO ₂	163t-CO ₂	143t-CO ₂	98t-CO ₂	161t-CO ₂	131t-CO ₂	
認証年月日	平成29年8月24日	平成30年8月9日	令和元年11月27日	令和2年9月2日	令和3年3月23日	令和4年12月26日	令和6年1月18日	
算定期間	H27.4~H29.3	H29.4~H30.9	H30.9~H31.3	H31.4~R2.3	R2.4~R3.3	R3.4~R4.3	R4.4~R5.3	
木質バイオマスの 使用実績（薪）	全乾重量	492.14t	67.29t	181.50t	165.76t	186.94t	179.15t	148.81t
	使用実績	984.28t	134.57t	362.99t	331.52t	373.87t	317.08t	297.62t
	（平均含水率）	50%	50%	50%	50%	50%	44%	50%

2 施設等の概要

- ① 木質バイオマスの種類 : 薪
- ② ボイラー等の種類 : 薪ボイラー
- ③ 木質バイオマスボイラーの概要
 - ・ 定格出力 : 350,000 kcal/h（温水供給）
 - ・ エネルギーの用途 : 温水（温浴施設）
 - ・ 導入時期 : 平成27年4月



【木質バイオマス（薪）ボイラー】



【薪の原木】